

第1回 エネルギー問題対策委員会

平成25年5月30日(木)15:00～
経団連会館5階「ルビールーム」



平成25年4月に委員募集を行い、35企業・団体に委員のご登録をいただきました。

第1回委員会には30名の委員が出席し、エネルギー問題への対策について検討を行いました。会議の前半に、一般社団法人スマートプロジェクトの高野雅晴理事をお招きし、「電力政策の現状と今後の見通し、家庭および企業の視点からみた節電・省エネ、創エネの今後の必要性」についてご説明をいただきました。後半では、本委員会での具体的な検討課題ならびに進め方について事務局案を提示し、委員の皆様による討議が行われました。



一般社団法人スマートプロジェクト
理事 高野 雅晴 様



議事概要

議題1. 「家庭の節電・省エネと企業の役割、電力自由化時代に向けて」

講演者：一般社団法人 スマートプロジェクト 理事 高野 雅晴 様

【講演内容】

電力システム改革の工程や平成25年度夏季の電力需給見通しなど、国や各電力会社の現状を踏まえ、エネルギーのインターネット実現に向けたスマートプロジェクトの取り組みについてご説明をいただきました。

電力システム改革

- 実施を3段階に分け、各段階で検証を行いながら実行される。
 1. 広域系統運用機関の設置 (平成27年目途)
 2. 小売参入の自由化 (平成28年目途)
 3. 送配電の中立化、料金規制の撤廃 (平成30年～32年目途)

平成25年度夏季の電力需給見通し

- 各電力管内で、電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通し。
- ただし、大規模な電源脱落等が発生した場合には、電力需給がひっ迫する可能性もあり、引き続き予断を許さない状況にある。

スマートプロジェクトの取り組み

- 国民一人ひとりが発電所となる「スマート国民総発電所」＝「エネルギーのインターネット」を構築することに向けた取り組みを行っている。電気の見える化をし、エネルギーの自産自消ができる仕組みを構築する。
- 家庭の節電行動として、電力使用量のピークカット対策や電力の見える化を推進している。

議題2. 検討課題について

議題1.の講演を踏まえて、事務局からの検討課題の提案について議論が行われました。まずは今夏の節電対策として「クールシェア(お出かけ節電)」について、生活者へ周知・啓発することといたしました。また、中長期的にITを活用した賢い節電・省エネの検討を行うとともにエネルギー関連の情報共有や調査・研究を継続して行っていくことといたしました。

【エネルギー問題対策委員会の概要】

- 本委員会の目的
 1. 家庭・企業において、賢い節電・省エネ、創エネを「国民的な運動」として展開・定着を図る
 2. 生活者視点に立ち将来を見据えた安全・安心・安定な生活を送ることができる社会を実現する
- 検討課題
 1. 家庭で取り組む賢い節電・省エネ、創エネ
 - ▶ 今夏の節電対策「お出かけ節電キャンペーンの実施」(電力使用量のピークカット対策)
 - ▶ ITを活用した賢い節電・省エネの検討
 2. 企業で取り組む節電・省エネ、創エネ
 - ▶ 企業の取り組み事例や関係省庁の動向などの情報共有
 3. エネルギー問題と地球環境に関する調査・研究